



豊里

鳴子でそり遊びとスキー教室

ときめきキッズクラブ第3回学習会「そり遊び・スキー教室」は2月18日、大崎市鳴子町のオニコウベスキー場で開かれ、44人のクラブ員が、そり遊びとスキーを楽しみました。

スキーは、指導員から一人一人丁寧に指導を受けました。そり遊びではみんなで競争したり、そりをつなげて滑り降りたり。ゲレンデに旗を立て、全員でスノーフラッグをするなど、雪山ならではの遊びを楽しんだ1日でした。

「火の用心」火災防止呼びかけ

平成29年春季登米市火災予防運動は3月1日から始まり、登米市消防団米山支団（比毛耕太郎支団長）と登米市米山支部婦人防火クラブ（畠山ひろみ会長）が街頭広報活動を実施しました。

二つの団体は、合併以前から春と秋の火災予防運動期間中、登米市役所米山総合支所前の県道など、町内3カ所で広報活動を実施。火の用心と書かれたのぼりを手に、火災防止の注意を喚起しました。



米山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



石越

青少年の健全育成に理解深め

青少年のための登米市民会議石越支部と石越町子ども育成協議会の「合同会員研修会」は2月4日、石越公民館で開かれ、団体関係者や子育て世代の母親など、地区住民約40人が青少年の健全育成に理解を深めました。

講師は、まなびのたねネットワーク代表理事の伊勢みゆき氏。幼少時に自己肯定感を高めることの重要性、親や大人の関わり方などについて話しました。参加者は子どもと接する上で大事なことについて、真剣に耳を傾けていました。

大空から見る南方は絶景かな

「熱気球試乗体験会」(南方中央地区コミュニティ主催)は2月26日、南方中央運動広場で開かれました。

同日は澄んだ青空の下、約150人の親子連れが参加。熱気球試乗は、途中から強風が吹き50人ほどとなりましたが、試乗した親子は、大空からの景色の素晴らしさに歓声を上げました。また、自分の絵がスクリーンで泳ぐ「うごく!?お絵かきコーナーミニ水族館」や無料で振る舞われた「おしろこ」を味わうなど、楽しいひとときを過ごしました。



南方



迫

踊りや餅つきで交流を深める

佐沼地区コミュニティ推進協議会(千葉成幸会長)主催の「佐沼地区コミュニティ祭り」は2月26日、迫公民館を主会場に開かれ、子どもからお年寄りまで約800人が踊りや餅つきで交流を深めました。

祭りでは、各町内会の演芸発表のほか、作品展示・工作体験などが行われたほか、お昼には公民館玄関前で餅つきも。つきたての餅とはっと汁が来場者に振る舞われました。充実した内容に、来場者は楽しい時間を過ごしました。

空高く舞い上がれ手作りだこ

「第54回とよま凧あげ大会」(青少年のための登米市民会議登米支部主催)は2月5日、北上川右岸堤防で開かれ、大勢の市民がたこ揚げで触れ合いました。

凧あげ大会は、手作りだこを通して、市民相互の親睦を図ることと、親子の触れ合いを深めることを目的に毎年開かれています。同日は穏やかな天気、風のないあいにくの状況でしたが、参加者は悪戦苦闘しながらも、大空にたこを舞い上げました。



登米



東和

銀世界で大いに遊び交流深め

「雪山であそぼう！」(青少年のためのあそびの探検隊などが主催)は2月4、5の両日、栗原市花山の国立花山青少年自然の家で開かれ、市内外から34人の小学生などが参加しました。

同日は、暖冬の影響で雪不足が心配されましたが、前日の降雪により、一面銀世界に。子どもたちは、雪山での危険予知トレーニングやブルーシートスライダーなどで交流を深めました。



津山

福を願い横山不動尊で豆まき

横山不動尊の「節分豆まき」は1月29日、横山不動尊境内で開かれ、多くの老若男女が豆袋を拾いました。

かみしも姿の関係者が、太鼓の音と「福は内、鬼は外」の元気な掛け声に合わせて、ご祈祷した豆袋をまくと、訪れた人たちは歓声を上げながら多くの福を呼び込もうと豆袋を拾っていました。まかれた豆袋には当たり付きの「福豆」が入っていて、拾った人には福柝や福飴などの縁起物が贈られました。

地域活動、30年の節目迎え

「上沼コミュニティ運営協議会設立30周年記念式典」は2月18日、上沼ふれあいセンターで開かれました。

同式典では、協議会設立以来長きにわたり、協議会活動や地域の振興・発展・安全に貢献した5人、1団体に表彰状と記念品を贈呈。「30年のあゆみ」と題した、設立当初からの活動をまとめた映像が披露され、出席者は30年の歴史を振り返りました。記念公演では、ほうねん座が演舞「祝いの舞」を披露し、式典に花を添えました。



中田